

# ひとエコまつり

2010

せんだいメディアテーク 1F 入場  
オープンスクエア 無料

7月24日(土) 13:00  
~16:00

城研三

実演:

目からうるこの手織り講習!!

るんびにい美術館

講演:

モダレス・アートの世界

板垣崇志 (アートディレクター)

SAORI in 東北

参加団体:

アートさをり(福島)、さくらんぼ共生園(山形)、るんびにい美術館(岩手)、こころさをり(石巻)、  
街喫茶さをり(大和)、さをり本舗ねこや(仙台)、その他に歌やパフォーマンスの個人参加!

協力: さをりの森、デンタルアーツ / 後援: 宮城県、東北文化学園大学、仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、ハートインみやぎ、  
発達支援ひろがりネット、麦の会、ミヤギユースセンター、オハイエプロダクツ、とっておきの音楽祭実行委員会、河北新報社

主催: 特定非営利活動法人黒川こころの応援団・フリースクール煌

問合せ先: 022-347-0028 黒川郡大和町吉岡字館下47 NPO法人黒川こころの応援団(小野田)

# ボードレスアート あるいは アートサロゲート あるいは アールブリュット



アール・ブリュット・ジャポネ展というものが、パリで開催されている。その事業目的は

「この展覧会を通じて精神科病院や知的障害者施設等を利用する障害者の制作する作品が、美術的な価値を認められることによる、芸術を通じた障害者のエンパワメントを目指しています。

また、この展覧会を多くの方にご理解いただくことにより「障害」という言葉そのものが、社会に肯定的な意味として認知され、障害者が地域で自立した生活が出来る社会の実現に大きく寄与することも目的としています。」

そこに出品している岩手県花巻市の「るんびにい美術館」アートディレクター板垣崇志さんをお招きして、その活動のあゆみと作品の紹介をしていただきます。板垣さんはボードレスアートとの出逢いを次のように語ります。

「美は私たちの頭脳が生み出すのではなく、私たちの命そのものが生み出すものです。私が見たものは、命の美しさと力強さそのものでした。そしてその美しさと力強さを通して、私自身の命が揺さぶられたのです。」



## 感性の手織り「さをり」



城研三さん(みさをさんの三男)

1970年、城みさをが57歳の時。あるきっかけで手織りを始めて間もない頃。自分の織った布にタテ糸が1本抜けていた。織物の常識に照らせば傷物。しかし、何か趣きがある、自分としては気に入っている。これを傷とみるか模様とみるか、見方次第で物の評価は180度変わる。よし、一度常識から離れて自分の好きなようにやってみよう、どんどんキズを作ってやろう…すべてはその発想の転換から始まりました。単なる手織りがアートに昇華した瞬間でした。

「さをり」とは自分の感じるままに、好きに好きに織る手織りです。織りに自己を表現するというアートとしての手織りです。アートである以上、見本もなければ、ミスや失敗というものもなく制約もありません。何を何色でどんな風に織るか、すべて織り手本人に委ねられているのです。

しかし、自由である＝簡単というわけではありません。我々は日頃から常識や既成概念という枠の中で生活しています。知らず知らずのうちにそれらの影響を受けて、何かに捉われていることが多いものです。その中で「自分」をありのままに表現することはある意味で難しいとさえいえるのです。

当日は織り機を前にして、初めてのさをり織り公開講習会・目からうろこの公開講習会を開きます。

**講演** 板垣崇志：るんびにい美術館アートディレクター(岩手県花巻市) 城研三：さをりの森代表(大阪府和泉市)

**さをり作品出展団体**：アートさをり：福島市南沢又前田 ころろさをり：石巻市吉野町  
街喫茶さをり：宮城県黒川郡大和町 さをり本舗ねこや：仙台市宮城野区新田

**ボードレスアート作品出展団体**：るんびにい美術館：岩手県花巻市 さくらんぼ共生園：山形県寒河江市